

「公認会計士試験事業」事業の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

公認会計士試験のうち、関東財務局が所管する試験実施地である東京都で実施する平成 24 年試験から平成 26 年試験までの願書配付・受付等業務、短答式及び論文式試験の立会等業務並びに平成 24 年第Ⅱ回短答式試験から平成 27 年第Ⅰ回短答式試験までの会場確保業務

契約期間：平成 23 年 4 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日までの 3 年 5 月

2. 実施状況に関する評価

- 確保されるべき質として設定された以下の項目すべてが達成。
 - ① 全業務共通事項
 - ② 試験会場の確保業務
 - ③ 願書等の配付・受付業務
 - ④ 試験当日の試験会場の運営
会場責任者等に対する事前のオリエンテーション等の方法を通じてマニュアルの遵守の徹底を図ること。
 - ⑤ 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止
 - ⑥ 受験申請者からの問い合わせや苦情等への適切な対応
 - ⑦ 答案用紙の引渡し
- 民間事業者からの改善提案に基づき、バーコードによる進捗管理を行うことにより、受験票の発送漏れや書類紛失防止が図られたことや従来の集合研修に加え、試験官等に対する研修に e-ラーニングが活用されるなど、実施体制が強化されており、民間事業者の創意工夫が発揮された。

3. 実施経費に関する評価

実施経費（契約金額（225,645 千円）に関東財務局実績額を加えた推計値）は、301,782 千円であり、民間競争を実施しなかった場合の推計値（328,779 千円）に比べ、26,997 千円（8.2%）の経費が削減。

4. 今後の事業について

本事業は、良好な実施状況であると評価できる。このため、次期事業においては、新プロセスへ移行した上で、引き続き関東財務局における事業を実施することが適当であると考えられる。

しかしながら、今後も対象範囲等の拡大等については引き続き検討されたい。

以上